



# 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況



平成20年2月1日

上場会社名 **株式会社エー・アンド・デイ**

上場取引所 東証一部

コード番号 7745

URL <http://www.aandd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 古川 陽

問合せ責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 貞雄

TEL (048) 593-1111

(百万円未満切り捨て)

## 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	26,587	7.1	2,280	0.7	2,007	△12.6	1,285	△19.9
19年3月期第3四半期	24,821	16.6	2,265	10.7	2,295	22.5	1,605	39.8
19年3月期	34,767	—	3,342	—	3,418	—	2,348	—

	1株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	57 61	56 61
19年3月期第3四半期	72 36	70 70
19年3月期	105 73	103 41

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	46,143	20,588	44.5	919 69
19年3月期第3四半期	47,560	18,906	39.8	849 15
19年3月期	46,752	19,618	41.8	877 02

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	438	△1,310	254	2,678
19年3月期第3四半期	△3,505	△3,605	5,731	3,673
19年3月期	△1,395	△4,716	4,325	3,271

## 2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

平成19年10月25日に公表いたしました業績予想を以下のとおり修正いたします。

詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。  
(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	36,400	4.7	3,400	1.7	2,750	△19.5	1,830	△22.1	82 02

## 3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、設備投資や個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな拡大基調で推移しましたが、原油価格高騰の長期化や原材料価格の高止まり、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安などにより、先行き不透明な状況となっております。一方、米国経済はサブプライムローン問題の景気への影響が懸念されますが、個人消費や設備投資は底堅さを持続しており、また、中国経済は好調な輸出を背景に景気拡大が続き、欧州経済も拡大テンポには減速感がみられるものの好調に推移しております。

このような状況の中、当社グループは、新市場の開拓を積極的に推進するとともに、顧客重視の営業活動を全面的に展開し、お客様信頼度・満足度を高めると同時に、新規事業においては、新技術を応用したシステム製品の開発に努め、デモンストレーションなどを通し顧客への浸透を図りました。一方、既存事業においては、新製品を積極的に市場投入し、製品ラインナップの充実をはかり拡販に注力いたしました。

その結果、当第3四半期の売上高は26,587百万円（前年同期比7.1%増）となりましたが、新規事業の早期立ち上げを目的とした研究開発費が増加したことにより営業利益は2,280百万円（同0.7%増）にとどまり、為替差益の減少（前年同期比158百万円減）及び開発助成金が当四半期になかったことにより経常利益は2,007百万円（同12.6%減）、四半期純利益は1,285百万円（同19.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a. 計測・計量機器事業

当第3四半期の計測・計量機器事業では、既存事業に属する計量機器や試験機においては、企業の設備投資が堅調に推移していることから売上は概ね順調に推移いたしました。しかし、新規事業である計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）は、新製品のORION（適合支援自動計測ソフトウェア）やRR-CD（Real Road-Chassis Dynamometer）などの試作機によるデモンストレーションを積極的に行い、顧客からの高評価は得ているものの、顧客における製品評価および予算手当等に予想以上の時間を要していることから正式受注には至らず、結果として売上に寄与することはできませんでした。また、半導体露光装置関連製品については、半導体メーカーの半導体製造装置への投資抑制の影響もあり、売上を維持することができませんでした。

営業費用につきましては、既存事業では海外生産の強化による製品原価低減等を行いました。新規事業の早期立ち上げを目的として先行的な開発投資を継続していることから増加となりました。

その結果、当セグメントの売上高は13,549百万円（前年同期比7.4%減）、営業損失は187百万円（前年同期は972百万円の利益）となりました。

#### b. 医療・健康機器事業

当第3四半期の医療・健康機器事業は、家庭用血圧計においては、前期に子会社化したロシア現地法人A&D RUS CO., LTD.の効果により売上は順調に推移しておりましたが、足元では市場競争の激化により売上の伸びは鈍化してきております。また、医療機器においては、全自動血圧計の好調もあり売上は堅調に推移しました。

営業費用につきましては、家庭用血圧計の生産工場である中国現地法人 愛安德電子（深圳）有限公司において、部品の内製化等によるコストダウンに努めましたが、原油価格高騰にともなう原材料価格上昇や米ドルに対する人民元の切り上げなどにより生産コストの増加がありました。

その結果、当セグメント全体の売上高は13,037百万円（前年同期比28.0%増）、営業利益は3,481百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は前連結会計年度末と比較して609百万円減少し、46,143百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金残高の減少によるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して969百万円増加し、20,588百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は438百万円となりました。

これは、未払金、前受金の減少を中心としたその他の使用1,820百万円、たな卸資産の増加1,074百万円及び法人税等の支払1,032百万円等があったものの、税金等調整前当期純利益が2,000百万円、売上債権の減少1,815百万円及び減価償却費が1,222百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,310百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出983百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は254百万円となりました。

これは、主に長期借入金883百万円の増加によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して593百万円減少し、残高は2,678百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期の業績予想につきまして、平成19年10月25日に公表いたしました業績予想を以下のとおり修正いたします。

### (1) 平成20年3月期通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,890	4,370	3,880	2,570	115 19
今回修正予想(B)	36,400	3,400	2,750	1,830	82 02
増減額(B-A)	△2,490	△970	△1,130	△740	△33 17
増減率(%)	△6.4	△22.2	△29.1	△28.8	△28.8
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	34,767	3,342	3,418	2,348	105 73

### (2) 修正の理由

業績予想修正の主な要因といたしましては、好調に業績を伸ばしてきたロシア現地法人A&D RUS CO., LTD.において、家庭用血圧計の市場競争の激化による影響、更に下期から本格的に販売を開始する予定だった健康補助食品の販売が不振だったことにより予想を下回る見込みとなりました。

また、前回の業績予想公表時において為替レートを1ドル115円と想定しましたが、最近の為替動向を勘案し1ドル110円に変更したことにより、在外子会社の本邦通貨への換算による影響、及び個別決算において外貨建債権の換算差損が見込まれることから業績予想の修正をおこなうものであります。

(ご参考) 平成20年3月期通期個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	2,050	1,710	1,010	45 27
今回修正予想(B)	27,600	1,800	1,200	740	33 17
増減額(B-A)	△400	△250	△510	△270	△12 10
増減率(%)	△1.4	△12.2	△29.8	△26.7	△26.7
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	29,063	3,079	3,226	2,072	93 30

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当第3四半期における税金費用については法定実効税率による簡便な方法によっております。  
その他影響額が僅少なものにつきましては一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

### (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	4,120	3,109	△1,010	△24.5	3,698
2. 受取手形及び売掛金	15,918	14,412	△1,505	△9.5	16,208
3. たな卸資産	10,785	11,763	977	9.1	10,673
4. その他	3,195	2,812	△383	△12.0	2,009
流動資産合計	34,020	32,098	△1,921	△5.6	32,589
II 固定資産					
1. 有形固定資産	8,525	9,063	537	6.3	8,970
2. 無形固定資産	3,706	3,463	△243	△6.6	3,668
3. 投資その他の資産	1,307	1,517	210	16.1	1,523
固定資産合計	13,540	14,044	504	3.7	14,163
資産合計	47,560	46,143	△1,417	△3.0	46,752
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	4,274	3,010	△1,263	△29.6	3,466
2. 短期借入金	13,003	11,687	△1,315	△10.1	12,143
3. 1年以内返済予定長期借入金	1,960	2,171	211	10.8	1,961
4. その他	4,692	3,815	△877	△18.7	5,434
流動負債合計	23,930	20,685	△3,244	△13.6	23,004
II 固定負債					
1. 社債及び長期借入金	3,518	3,608	89	2.5	2,937
2. その他	1,204	1,261	56	4.7	1,192
固定負債合計	4,723	4,869	146	3.1	4,129
負債合計	28,653	25,555	△3,098	△10.8	27,134
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	6,364	6,371	7	0.1	6,369
2. 資本剰余金	6,380	6,387	6	0.1	6,385
3. 利益剰余金	5,771	7,510	1,738	30.1	6,515
4. 自己株式	△10	△10	△0	—	△10
株主資本合計	18,506	20,258	1,752	9.5	19,259
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	129	47	△81	△63.0	104
2. 為替換算調整勘定	201	214	12	6.2	191
評価・換算差額等合計	330	261	△68	△20.8	296
III 少数株主持分	69	67	△2	△3.1	62
純資産合計	18,906	20,588	1,681	8.9	19,618
負債、純資産合計	47,560	46,143	△1,417	△3.0	46,752

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	24,821	26,587	1,765	7.1	34,767
II 売上原価	13,221	13,624	402	3.0	18,721
売上総利益	11,600	12,963	1,362	11.7	16,045
III 販売費及び一般管理費	9,335	10,682	1,347	14.4	12,702
営業利益	2,265	2,280	14	0.7	3,342
IV 営業外収益	379	109	△270	△71.2	542
V 営業外費用	349	382	33	9.5	467
経常利益	2,295	2,007	△288	△12.6	3,418
VI 特別利益	9	0	△9	△99.2	9
VII 特別損失	3	6	2	79.4	33
税金等調整前四半期 (当期)純利益	2,301	2,000	△301	△13.1	3,393
税金費用	686	708	21	3.2	1,041
少数株主利益	10	7	△2	△29.4	3
四半期(当期)純利益	1,605	1,285	△320	△19.9	2,348

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,301	2,000	3,393
減価償却費	953	1,222	1,356
商標権償却額	50	117	89
売上債権の増減額	△3,274	1,815	△3,581
たな卸資産の増減額	△2,137	△1,074	△2,048
仕入債務の増減額	402	△528	△389
役員賞与の支払額	△65	—	△65
その他	△520	△1,820	1,805
小計	△2,289	1,732	559
利息及び配当金の受取額	22	27	39
利息の支払額	△264	△289	△346
法人税等の支払額	△973	△1,032	△1,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,505	438	△1,395
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△1,015	△983	△1,742
無形固定資産の取得による支出	△2,508	△220	△2,624
その他	△81	△106	△348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,605	△1,310	△4,716
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	5,213	△362	4,373
長期借入金の純増減額	1,385	883	807
社債の償還による支出	△700	—	△700
株式の発行による収入	33	3	43
その他	△199	△270	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,731	254	4,325
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	77	24	82
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,301	△593	△1,703
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,975	3,271	4,975
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,673	2,678	3,271

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期）

(単位：百万円)

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高	14,637	10,183	24,821	—	24,821
営業費用	13,665	8,024	21,689	866	22,556
営業利益	972	2,159	3,132	△866	2,265

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

(単位：百万円)

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高	13,549	13,037	26,587	—	26,587
営業費用	13,737	9,555	23,293	1,013	24,306
営業利益	△187	3,481	3,293	△1,013	2,280

(参考) 前期（平成19年3月期）

(単位：百万円)

	計測・計量 機器事業	医療・健康 機器事業	計	消去又は全社	連 結
売上高	19,868	14,899	34,767	—	34,767
営業費用	18,661	11,614	30,275	1,149	31,424
営業利益	1,207	3,284	4,491	△1,149	3,342

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第3四半期）

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高	21,762	4,768	4,303	9,050	39,885	△15,063	24,821
営業費用	19,296	4,764	3,847	8,495	36,403	△13,847	22,556
営業利益	2,466	3	455	555	3,481	△1,215	2,265

当四半期（平成20年3月期第3四半期）

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高	20,338	4,622	7,746	7,137	39,845	△13,258	26,587
営業費用	18,887	4,810	6,955	6,949	37,603	△13,296	24,306
営業利益	1,450	△187	790	187	2,241	38	2,280

(参考) 前期（平成19年3月期）

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	計	消去又は全社	連 結
売上高	29,085	6,480	7,106	11,320	53,992	△19,225	34,767
営業費用	25,738	6,432	6,520	10,778	49,469	△18,044	31,424
営業利益	3,346	47	586	541	4,522	△1,180	3,342